



平成28年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大庄
 コード番号 9979 URL <http://www.daisvo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平 了寿
 (氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第1四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第1四半期	16,580	△1.5	△329	—	△332	—	△354	—
27年8月期第1四半期	16,840	△7.2	△671	—	△683	—	△465	—

(注) 包括利益 28年8月期第1四半期 △337百万円 (—%) 27年8月期第1四半期 △445百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第1四半期	△17.15	—
27年8月期第1四半期	△22.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年8月期第1四半期	42,493	21,551	50.3	1,033.89
27年8月期	42,719	22,053	51.2	1,058.41

(参考) 自己資本 28年8月期第1四半期 21,385百万円 27年8月期 21,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00
28年8月期	—	—	—	—	—
28年8月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,700	△2.0	210	—	210	—	90	—	4.35
通期	70,150	△0.9	1,010	431.1	1,010	456.6	430	—	20.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ミッドワーク 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年8月期1Q	21,198,962 株	27年8月期	21,198,962 株
② 期末自己株式数	28年8月期1Q	514,689 株	27年8月期	514,689 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年8月期1Q	20,684,273 株	27年8月期1Q	20,684,401 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に企業収益や雇用・所得環境などの改善が進みましたが、中国をはじめ世界経済の減速懸念から先行き不透明な状況が続きました。消費動向につきましても、訪日外国人客による需要拡大は見られるものの、物価上昇懸念や節約志向の高まりから消費マインドの低迷が続き、依然として大きな回復には至っておりません。

このような状況の中で、当社グループは、当期における最重要経営課題を「収益力の拡大」と認識し、店舗改装の強化、店舗業態ポートフォリオの確立、MD（マーチャンダイジング）戦略のさらなる強化、新しい事業分野への進出、仕入調達力の強化、経営管理システムの革新など様々な施策に取り組みました。

一方、店舗展開におきましては、新規出店を4店舗、店舗改装（業態転換を含む）を7店舗、店舗閉鎖を2店舗で行いました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1.5%減少の16,580百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高は対前年比102.0%と前年実績を上回ったものの、前期に実施した店舗閉鎖による売上減少が大きく影響し、売上高は前年同期に比べ2.5%減少の13,756百万円となりました。

卸売事業につきましては、鮮魚卸売子会社のグループ外部取引先への売上が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ0.4%減少の1,040百万円となりました。

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ1.7%減少の257百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、売上高は前年同期に比べ0.3%増加の101百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ8.0%増加の1,424百万円となりました。

一方、利益面につきましては、営業損失は329百万円（前年同期は営業損失671百万円）、経常損失は332百万円（前年同期は経常損失683百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は354百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失465百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は15,004百万円となり、前連結会計年度末に比べて259百万円減少となりました。これは、現金及び預金が494百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は27,488百万円となり、前連結会計年度末に比べて33百万円増加となりました。これは、敷金及び差入保証金が247百万円減少したことに対し、有形固定資産が85百万円、無形固定資産が154百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は11,255百万円となり、前連結会計年度末に比べてほぼ同額の0百万円増加となりました。

また、固定負債は9,686百万円となり、前連結会計年度末に比べて275百万円増加となりました。これは、長期借入金が286百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は21,551百万円となり、前連結会計年度末に比べて501百万円減少となりました。これは、配当金の支払いや親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により利益剰余金が520百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月14日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社の事業年度における収益構造として、主力事業である飲食事業におきましては、各四半期別にお客様の飲食需要の変化に伴う季節要因による変動が非常に大きい、という事業特性があります。

特に、第1四半期（9～11月）の収益構造としては、売上高が他の3四半期間に比べて少なく、利益面についても同様に他の3四半期に比べて大きく低下するという特性があります。逆に、忘年会・新年会という年間を通して最大の宴会需要期となる第2四半期（12～2月）は、売上高及び利益水準とも非常に高くなる特性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、株式の取得により、新たに㈱ミッドワークを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,390	10,895
売掛金	2,278	2,295
商品及び製品	465	513
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	175	178
繰延税金資産	317	368
その他	822	939
貸倒引当金	△185	△187
流動資産合計	15,264	15,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,655	5,724
機械装置及び運搬具（純額）	425	424
工具、器具及び備品（純額）	692	705
土地	8,219	8,216
リース資産（純額）	601	562
建設仮勘定	14	61
有形固定資産合計	15,609	15,695
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	8	7
その他	171	326
無形固定資産合計	1,092	1,247
投資その他の資産		
投資有価証券	296	307
出資金	4	4
長期貸付金	116	115
差入保証金	6,277	6,138
敷金	3,921	3,812
繰延税金資産	42	60
その他	360	371
貸倒引当金	△266	△264
投資その他の資産合計	10,752	10,546
固定資産合計	27,455	27,488
資産合計	42,719	42,493

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,242	2,136
短期借入金	1,895	1,895
1年内返済予定の長期借入金	2,167	2,271
1年内償還予定の社債	200	200
リース債務	339	288
未払金	2,659	2,670
未払法人税等	362	127
未払消費税等	705	452
賞与引当金	94	206
株主優待引当金	113	89
店舗閉鎖損失引当金	47	15
資産除去債務	4	6
その他	421	895
流動負債合計	11,254	11,255
固定負債		
社債	150	150
長期借入金	5,029	5,315
リース債務	314	330
退職給付に係る負債	1,616	1,635
役員退職慰労引当金	642	632
受入保証金	542	558
資産除去債務	1,057	1,058
繰延税金負債	57	5
その他	0	0
固定負債合計	9,411	9,686
負債合計	20,665	20,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	4,245	3,725
自己株式	△602	△602
株主資本合計	22,177	21,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151	159
土地再評価差額金	△436	△431
その他の包括利益累計額合計	△285	△272
非支配株主持分	161	166
純資産合計	22,053	21,551
負債純資産合計	42,719	42,493

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成26年9月1日 至平成26年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年9月1日 至平成27年11月30日）
売上高	16,840	16,580
売上原価	6,453	6,301
売上総利益	10,387	10,279
販売費及び一般管理費	11,058	10,608
営業損失（△）	△671	△329
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
その他	13	15
営業外収益合計	16	18
営業外費用		
支払利息	17	14
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	10	6
営業外費用合計	28	21
経常損失（△）	△683	△332
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	80	13
特別利益合計	80	13
特別損失		
固定資産売却損	—	12
固定資産除却損	11	13
店舗関係整理損	12	10
減損損失	10	44
特別損失合計	33	80
税金等調整前四半期純損失（△）	△636	△400
法人税、住民税及び事業税	69	74
法人税等調整額	△243	△124
法人税等合計	△174	△49
四半期純損失（△）	△461	△350
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	3
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△465	△354

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成26年9月1日 至 平成26年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成27年9月1日 至 平成27年11月30日）
四半期純損失（△）	△461	△350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	7
土地再評価差額金	-	5
その他の包括利益合計	16	12
四半期包括利益	△445	△337
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△449	△341
非支配株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年9月1日至平成26年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,112	1,045	262	100	15,521	1,318	16,840	—	16,840
セグメント間の内部売 上高又は振替高	7	2,512	142	—	2,662	243	2,905	△2,905	—
計	14,120	3,557	405	100	18,183	1,562	19,746	△2,905	16,840
セグメント利益又は損失 (△)	△455	103	95	78	△177	23	△154	△517	△671

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△517百万円には、セグメント間の取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△519百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において10百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成27年9月1日 至 平成27年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	13,756	1,040	257	101	15,156	1,424	16,580	—	16,580
セグメント間の内部売 上高又は振替高	7	2,452	125	—	2,586	246	2,832	△2,832	—
計	13,764	3,493	383	101	17,742	1,670	19,413	△2,832	16,580
セグメント利益又は損失 (△)	△56	100	83	69	196	30	226	△556	△329

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△556百万円には、セグメント間の取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△557百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において44百万円であります。

以上